

亀山かめやまは天龍寺の西なる山なり。〔亀の甲に似たるゆゑ号る〕後嵯峨帝ごさが亀山帝がていかめやま離宮りきうをいとなき住せ給ふ旧蹟なり。

亀山かめやまの仙洞によしの山の桜をあまたうつしうへ侍しが、花さけるを見て

続 古 春ごとに思ひやられしみよしの、花はけふこそ宿に咲けれ 太上天皇

同 かめのをの瀧つ河波玉ちりて千代の数みる秋の夜の月 大納言通成

新 千 子日するいづくはあれと亀のをの岩ねの松をためしにぞ引 為家